

木島平のマイクロバス転落

急カーブ 防護柵なく

木島平村の林道で18日午前11時ごろ、マイクロバスが路肩から崖下に転落、死者1人と多数のけが人が出る事故となった。現場は急

飯山署によると、岐阜県内の写真愛好家たちを乗せたバスが、約18メートルほど落ち、木々に引っかかるように止まったという。中には車外に放り出された乗客もいて、全身を強く打って死亡した岐阜市長森本町1丁目、無職河村信作さん(82)も、その一人と見られている。

林道は、幅5メートルほどでセンターラインがない。ヘアピンカーブも多く、事故現場は、緩い下り坂のやや急な右カーブ。所々にガードレールはあるが、転落した



崖下約18メートルから林道に引き上げられたバス。木島平村上末島

場所にはなかった。木島平村役場によると、林道は積雪のため冬季の間は通行止めになり、時々岩の崩落などもあるという。

現場では、事故から約5時間後の午後4時ごろから、警察などがレッカー車で転落したバスを引き上げた。(軽部理人)